

事業名：社会資本総合整備（防災・安全社会資本整備交付金）（3か年）
（一）男井戸川 護岸工

所属・係名 伊勢崎土木事務所・工務第一係

1. 事業概要

【河川名】一級河川男井戸川
【箇所】伊勢崎市上諏訪町地内

施工箇所



河川改修工事
L=30.0m(No.29+10.0~No.31)

護岸工（環境保全型ブロック積）
L=46.5m A=188.5m²

プレキャストボックスカルバート
B5900×H3500 L=6.7m
管理用通路舗装 L=195.3m

男井戸川の沿線は急速な市街化に伴い、大雨の際に冠水被害が多発している河川である。
（現在改修中の河川）

2. 現場の特徴【ステップ1】

- ・男井戸川の上中流部には市街地が、下流部には田畑が広がっている。
- ・今回工事区間下流部には小学校がある。

3. 事業目的【ステップ2】

①現場から何を見せるのか
男井戸川の河川空間（水辺、緩傾斜護岸）

②どこから現場自体を見せるのか
管理用通路、市道BOX部

- ③目指すべき目標像
- ・近隣小学校の生徒や地域住民が散策路や憩いの場として利用できるような河川空間の整備
 - ・緩傾斜護岸を利用した親水性に富んだ多自然的空間の整備
 - ・大雨の際にも十分な流量を処理できる周辺環境と調和した護岸整備

4. 配慮内容【ステップ3】

完成

（整備前後の写真やコメント等）、計画済・計画中（想定される内容）

○親水性に富んだ多自然的な河川空間とする工夫

小学校北の護岸を緩傾斜護岸にすることにより、利用しやすい川辺とすることで親水性を高め、地域の憩いの場としての河川空間の創造を図る。



○堤防天端の管理用通路を利用しやすくする工夫



管理用通路を舗装することにより粘り強い堤防および堤防等河川点検の効率化を図る共に、近隣住民が散策路として利用しやすくする。



○護岸ブロックに環境保全型ブロック（ナチュロック浅間溶岩石）を使用することにより、周辺の風土に溶け込むよう工夫



拡大



市道BOX部から見た男井戸川と緩傾斜護岸